

全国大学書道学会創立 65 周年記念企画台湾研修旅行に関して（続報第 2 弾）

『会報』30号（7頁。本学会ホームページにも掲載）において、台湾研修旅行のご案内を行いました。このたび、中央研究院におきましても、拓本を中心とした特別閲覧を交渉中であり、下記の拓本を申請しております。時間がありましたら、追加してさらに出してもらおう予定です。

下記の拓本は、清末最大の收藏家と目される端方コレクションの優品を中心に間近で見るところができます。中央研究院の所蔵の拓本は膨大であり、今回選定された作品は、常設展でもあまり展示されないものです。

端方蔵漢永平開通褒斜道摩崖

端方蔵漢孝堂山食堂題字

端方蔵漢白石神君碑

端方蔵阮刻吳天癸神識碑

唐特進右僕射虞恭公溫彦博墓誌

端方蔵漢武孟子男靡嬰買地玉券

歐陽詢唐蘇玉華墓誌

申し込み締め切りは、2023年7月7日（金）となっておりますが、会報配付が遅滞したこともあり、2023年7月13日（木）まで延長します。まだお申し込みでない方は、是非ふるってお申し込み下さいますよう、よろしくお願ひします。

目下、20名を超える方が参加される予定です。1人部屋希望の場合は24000円（3泊分）追加徴収となります。

個々の詳しいことに関しましては、改めてお知らせする予定であります。何かご質問がありましたら、編集局長の下田までご連絡ください。